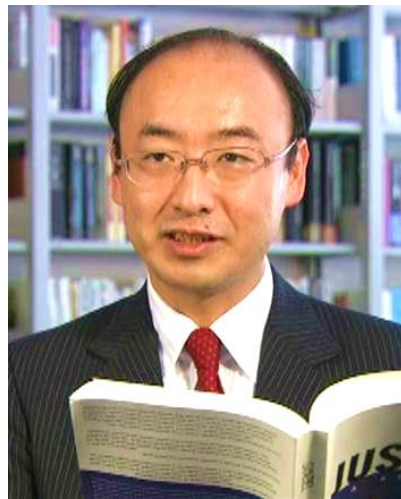


慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科公開講座

白熱対談「公共哲学×SDM」 新しい世界の作り方・見え方

2013年6月9日13時～15時半

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館3階C3S10教室にて



小林 正弥

千葉大学大学院
人文社会科学研究科



前野 隆司

慶應義塾大学
SDM研究科

スケジュール

13:00～13:30

「俯瞰システムデザイン：絶対無からの楽観」

前野 隆司

13:30-14:00

「公共哲学のフロンティア：統合化への挑戦」

小林 正弥

14:00-15:00 クロストーク

15:00-15:30 質疑応答

司会：野田 武志（（有）オール・アズ・ワン）

俯瞰システムデザイン ー絶対無からの楽観ー



前野 隆司

**慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科**

**プレゼン資料は慶應SDMのHP、
前野隆司のHPで公開します。**



Takashi Maeno 前野 隆司

2013年秋「活かす幸福学
(仮題)」(講談社)



日本の問題：

激動する現代社会が直面する問題の多くは、問題をシステムとして俯瞰的視点からとらえ、全体として整合性のある解を創造すべき問題なのに、誰もそれができないこと。



原子力 環境問題 震災
小子高齢化 外交 農業 TPP 雇用 教育
領土問題 防衛 資源 技術のガラパゴス化
国家財政破綻 セキュリティー 国際競争力の低迷
格差 年金 国家ビジョン 理系離れ

想定外の事態への対応が困難な 日本の政府や企業



国際競争力のある製品開発・ 商売ができない日本の企業



部品は超一流なのに、システムとしては三流の日本の製品

日本でしか使えない日本製の携帯

(ガラパゴス化)

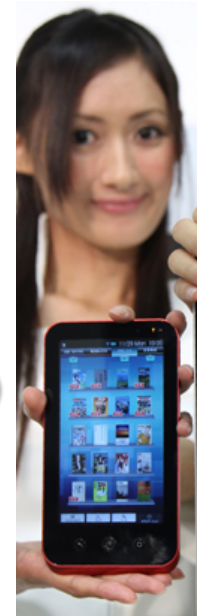


iPhone



iPhoneに追従するタブレット型携帯

(ガラパゴス)



iPhoneの部品:

日本製	34%
ドイツ製	17%
韓国製	13%
アメリカ製	6%
中国製	3.6%
その他	27%

部品は超一流なのに、システムとしては三流の日本の製品

建築・土木技術は超一流



参考:オランダの自転車専用道路



システムとしての道路の運用は三流



日本の問題：

激動する現代社会が直面する問題の多くは、問題をシステムとして俯瞰的視点からとらえ、全体として整合性のある解を創造すべき問題なのに、誰もそれができないこと。



原子力 環境問題 震災
小子高齢化 外交 農業 TPP 雇用 教育
領土問題 防衛 資源 技術のガラパゴス化
国家財政破綻 セキュリティー 国際競争力の低迷
格差 年金 国家ビジョン 理系離れ

~~世界~~日本の問題:

激動する現代社会が直面する問題の多くは、問題をシステムとして俯瞰的視点からとらえ、全体として整合性のある解を創造すべき問題なのに、誰もそれができないこと。

~~世界~~日本の問題を解決するには？

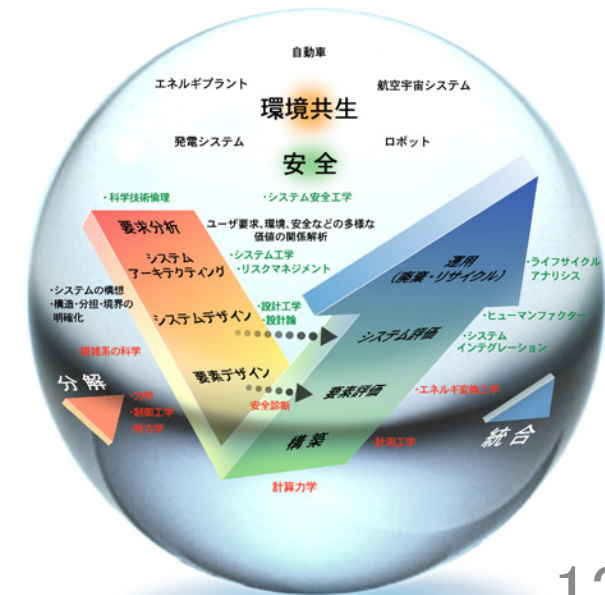
「問題をシステムとして俯瞰的にとらえ全体として整合性のある解をデザインする方法」(=**システムデザイン・マネジメント学**)を確立し、これを身につけた人材の育成を行うべき。

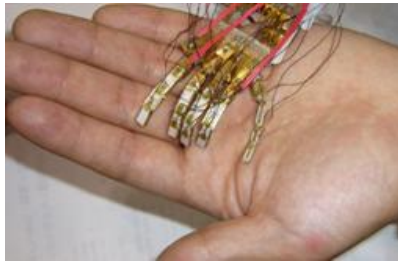
システムデザイン・マネジメント研究科とは？

システムズエンジニアリングやデザイン思考を基盤に、複雑に絡み合った問題をシステムとして全体最適の視点から解決するための方法を教育・研究する、これまでにない、文理融合型の大学院。

www.sdm.keio.ac.jp

日吉駅徒歩0分。

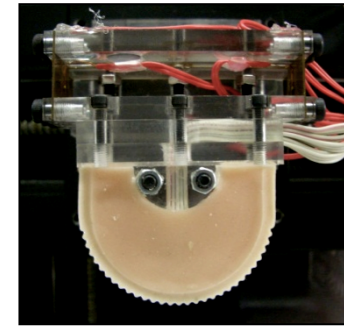




**世界一小さい
5指ロボットハンド**



世界一速いロボットハンド



触感のわかるセンサ



**人々は、役割分担に特化しすぎ
もっと全体の問題をシステムデザインすべき
そもそも科学技術はどうあるべきか？
そもそも人間はどう生きるべきか？
そもそも世界はどうあるべきか？**

1. 世界はどうあるべきか？

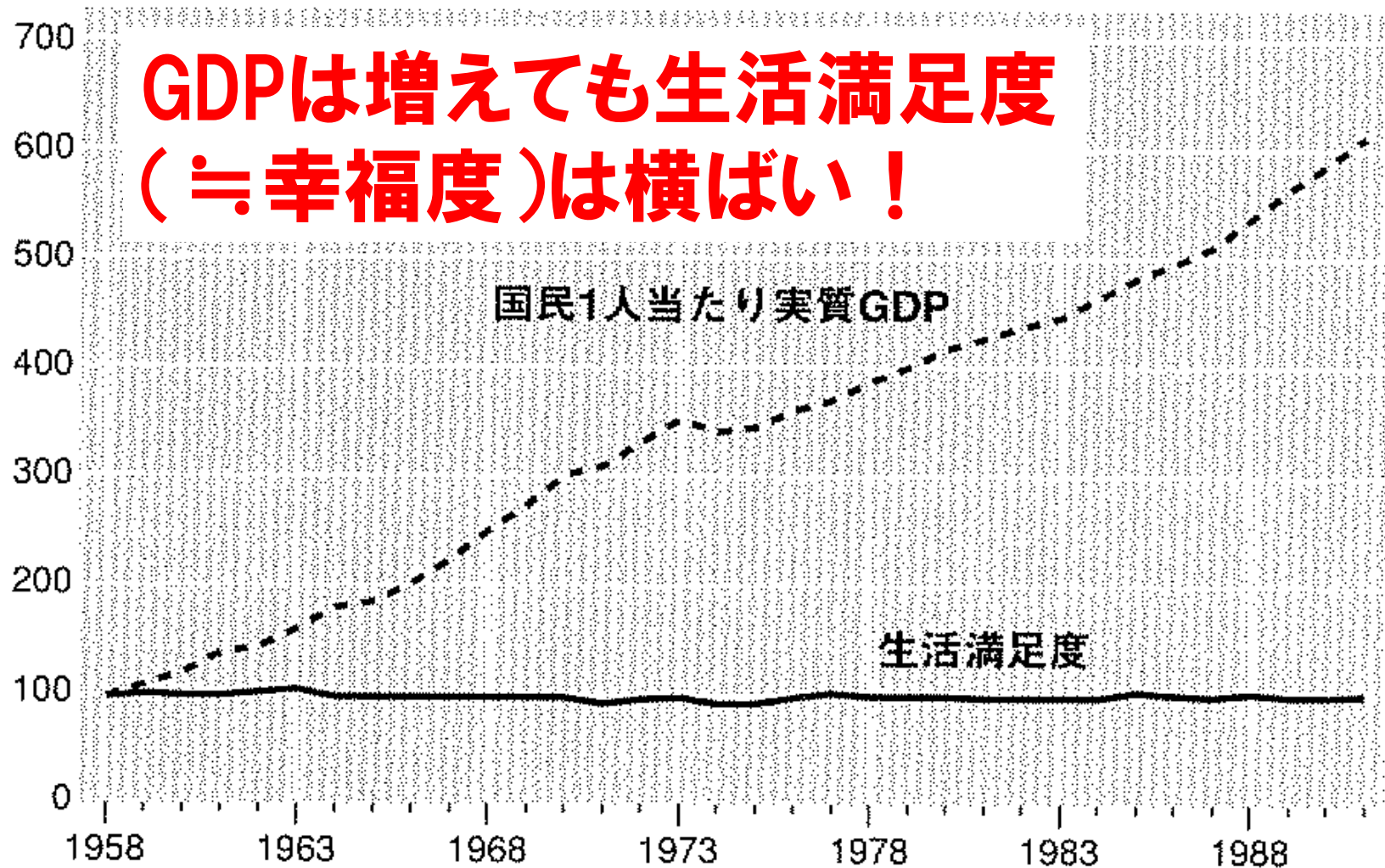
西洋型世界観と東洋型世界観の融合!?

2. 私たちはいかに生きるべきか？

システムとしての幸福な人生のデザイン!?

図1-3

日本における国民1人当たり実質GDPと生活満足度の推移



出典：Penn World Tables and World Database of Happiness.

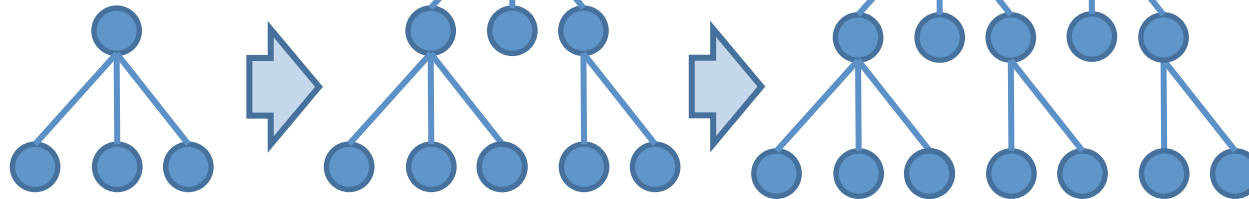
狩猟
採集
時代

農耕革命
(食糧革命)

産業革命
(動力革命)

階層化・トップダウン化

役割分担主義
要素還元主義



・家族
・部族

・国家
・職業

・グローバル世界
・国家
・会社(大企業)

・地球環境問題
・南北問題
・戦争・テロ

人類は、ただ、依存症の
ように、地球と社会を勝
手に作り変えて来ただ
けなのではないか？

こんな世界に誰がした？

論理的・科学的世界観



役割分担主義・要素還元主義：**分ける！**



社会のしくみは効率化・高度化＝**進歩？**



富は蓄積、しかし、
環境問題、南北問題、紛争問題など、
全体の問題を解く者がいない！

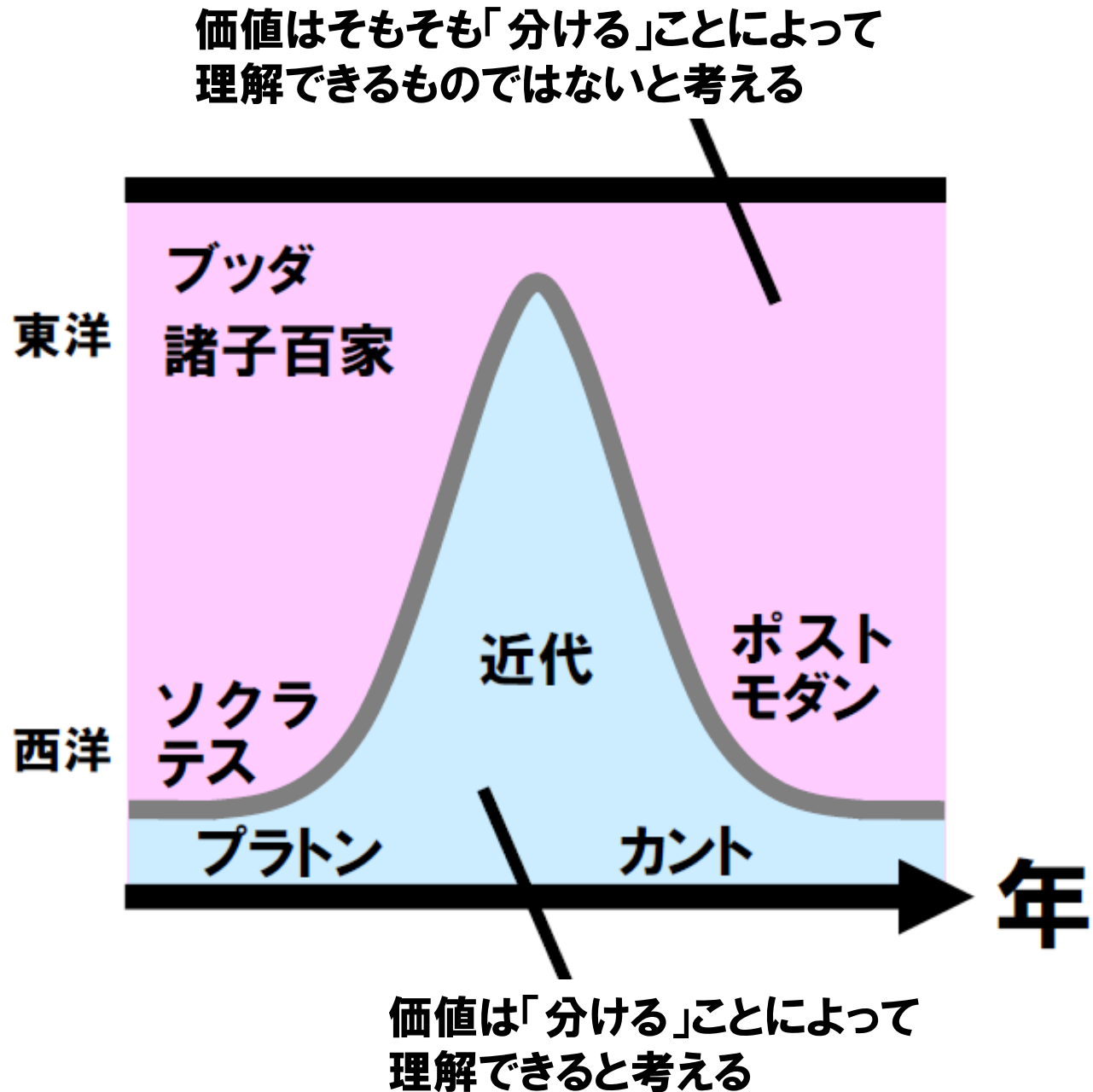
科学も哲学も社会も 役割分担(要素還元)

カント(理想はある) v.s. ベンサム(結果主義)
科学も技術も会社も社会も: 専門化の進展
宗教も国家もバラバラ



そもそも、「分けた」のが間違いでは？
(「分ける」→「分かる」というのは世界の
近似モデル(若気の至り)に過ぎないのでは？)

電子書籍A-R2「滅亡に向かう世界
一依存症時代の未来像」(前野隆司)より



もともとは西洋も
東洋もなかった。
役割分担(要素
還元)主義もな
かった。

「R2」滅亡に向か
代の未来像」(前野

西洋で発明された
役割分担(要素還
元)主義が近代西
洋型進歩至上主
義につながった。

価値はそもそも「分ける」ことによ
理解できるものではないと考える

諸子百家

ソクラ

近代

ポスト
モダン

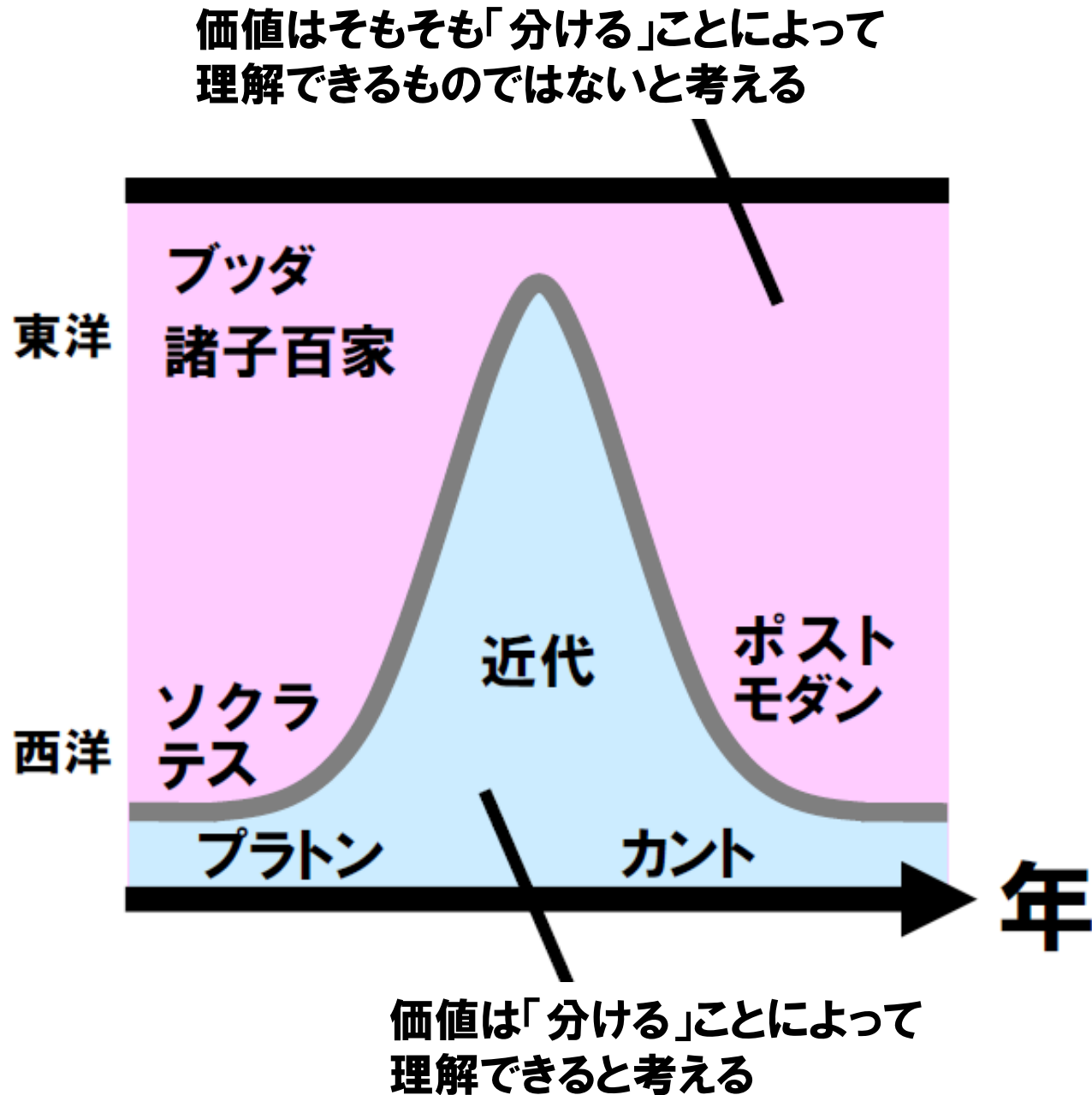
カント

価値は「分ける」ことによ
理解できると考える

近代西洋型進歩
至上主義・役割
分担(要素還元)
主義が世界を席
巻。

近代西洋型進歩
至上主義では環
境・南北・紛争問
題を解決できない
ことが明らかに。

電子書籍A-R2「滅亡に向かう世界
—依存症時代の未来像」(前野隆司)より



では、これからの世界はどうなるべきか？

狩猟
採集
時代

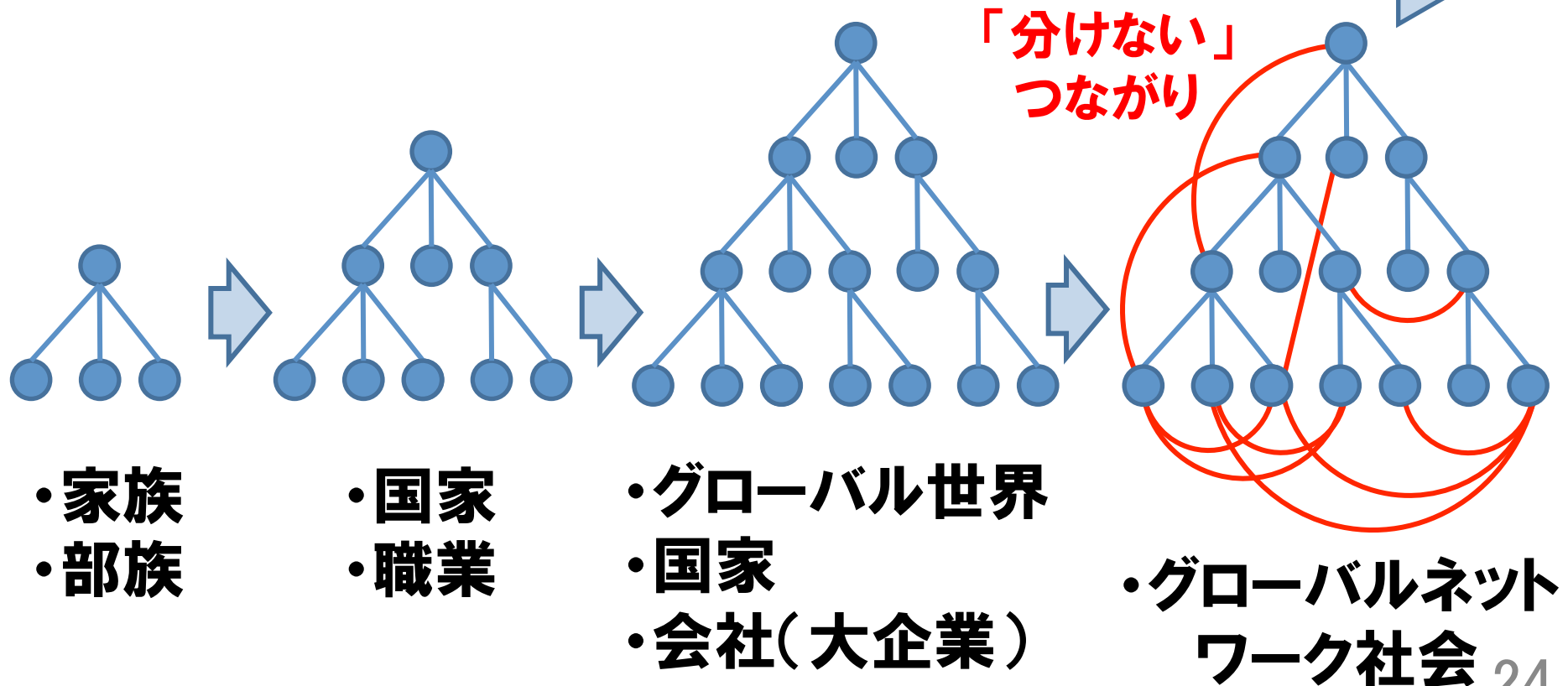
農耕革命
(食糧革命)

産業革命
(動力革命)

これからの
情報革命

階層化・トップダウン化

ネットワーク化・ボトムアップ化



西洋型と東洋型!?

近代西洋型進歩主義

「分ける」「分かる」世界観

合理的・科学的態度
論理的二項対立図式
(自他、勝敗、善悪、正誤)
＝役割分担・要素還元
→進歩か退歩か

日本的・東洋的 価値感

「分けない」世界観

論理超越型世界観
「山は山にあらず
故に山なり」
進歩であり循環でもある
〇〇は実在であり幻想
諸行無常・絶対無

普遍主義の理論的不可能性と 実践的不可避性（宮台真司）



近代西洋的に
捉えると矛盾



「分けない」世界観

無常
無我
無私



陰陽太極図

理想はないが、理想はある

世界のしあわせと平和の理想はない＝ある

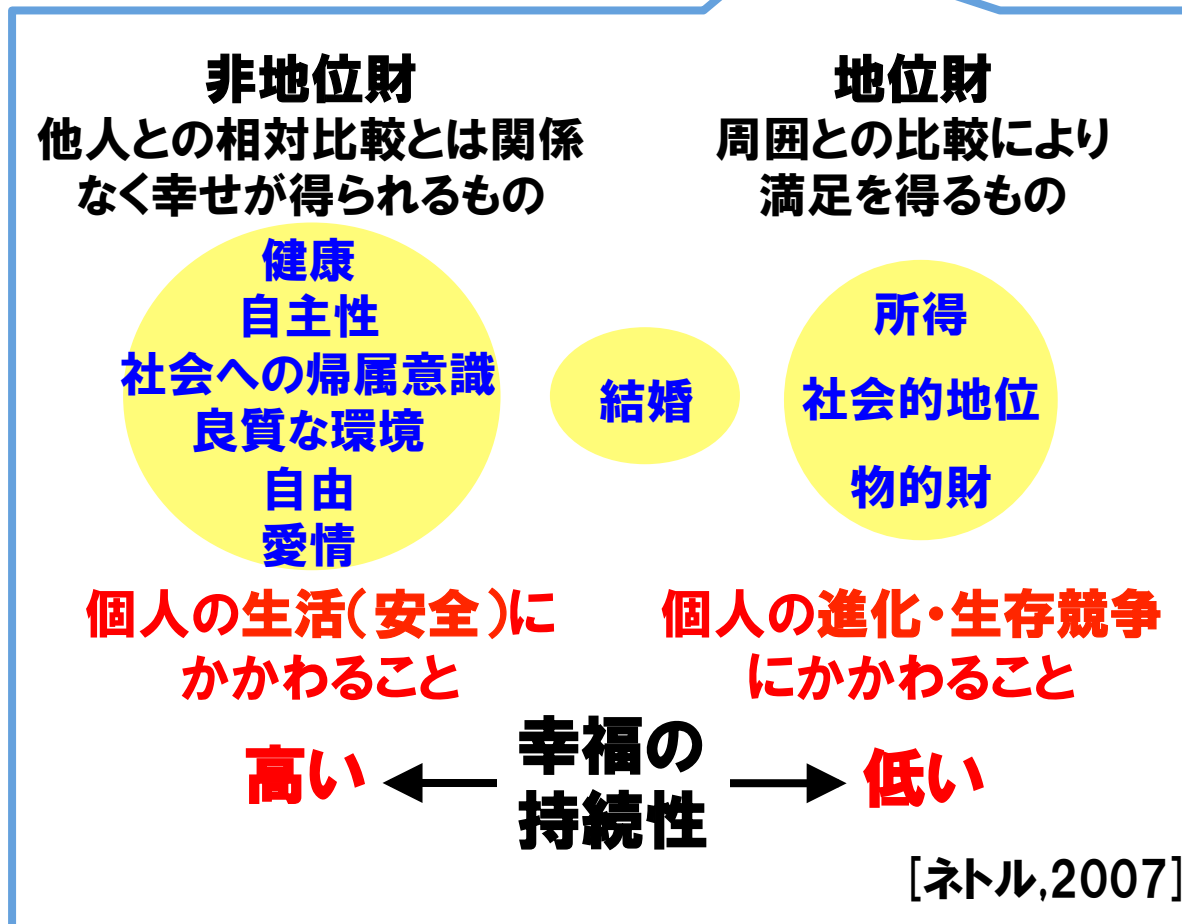
どんな人が幸福？



幸せのモデルはある＝ない

現代社会の不幸

地位財(≡経済成長)に
重きを置き過ぎる社会



- フォーカシング・ダイリュージョン(持続しない幸福)を目指し過ぎ



- 環境問題・格差・紛争…

どんな人が 幸福か？

1500人へのアンケート による主観 的幸福の因子 分析結果

2013年秋
出版予定
(講談社学術文庫)

バリマックス回転後の因子行列 (主因子法・4つ削除済)

	1	2	3	4	共通性
コンピテンス	0.739	0.231	0.192	0.068	0.641
人生の意義	0.722	0.356	0.290	0.112	0.745
熟達	0.696	0.278	0.340	0.015	0.678
自己実現尺度	0.676	0.246	0.375	0.135	0.677
自尊心	0.644	0.381	0.323	0.033	0.666
自律性	0.638	0.269	0.142	0.039	0.501
思想宗教	0.606	0.235	0.156	0.289	0.531
社会の要請	0.602	0.233	0.261	0.244	0.545
将来への希望	0.587	0.479	0.327	0.055	0.684
個人的成長	0.570	0.488	0.143	0.120	0.599
親切	0.539	0.492	0.054	0.026	0.536
勤労意欲	0.526	0.330	0.069	0.199	0.431
目標の明確性	0.493	0.321	0.324	0.115	0.465
人を喜ばせる	0.415	0.734	-0.019	-0.002	0.712
感謝傾向	0.259	0.729	0.172	0.127	0.644
愛情	0.301	0.656	0.315	0.054	0.624
ユーモア	0.279	0.586	0.200	-0.150	0.484
積極的な他者関係	0.302	0.509	0.372	0.314	0.587
満喫	0.473	0.480	0.350	0.203	0.617
楽観性	0.245	0.216	0.622	0.136	0.512
自己受容	0.438	0.361	0.556	0.266	0.702
心配ごとがない	0.227	0.007	0.529	0.476	0.557
気持ちの切り替えが得意	0.366	0.204	0.423	0.293	0.440
自己概念の明確傾向	0.018	-0.021	0.114	0.693	0.493
社会的比較志向のなさ	0.101	0.044	0.083	0.538	0.308
因子付与	6.214	4.122	2.438	1.604	14.378
累積寄与率	24.856	41.342	51.094	57.511	

どんな人が 幸福か？

1500人へのアンケート
による主観
的幸福の因子
分析結果

2013年秋
出版予定
(講談社学術文庫)

バリマックス回転後の因子行列 (主因子法・4つ削除済)

	1	2	3	4	共通性
コンピテンス	0.739	0.231	0.192	0.068	0.641
人生の意義	0.722	0.356	0.290	0.112	0.745
熟達	0.696	0.278	0.340	0.015	0.678
自己実現尺度	0.676	0.246	0.375	0.135	0.677
自尊心	0.644	0.381	0.323	0.033	0.666
自己実現志向	0.739	0.231	0.192	0.068	0.641
社会的比較志向	0.722	0.356	0.290	0.112	0.745
個人成長志向	0.696	0.278	0.340	0.015	0.678
新目標設定	0.676	0.246	0.375	0.135	0.677
人感愛	0.644	0.381	0.323	0.033	0.666
自己受容	0.438	0.361	0.556	0.266	0.702
心配ごとがない	0.227	0.007	0.529	0.476	0.557
気持ちの切り替えが得意	0.366	0.204	0.423	0.293	0.440
自己概念の明確傾向	0.018	-0.021	0.114	0.693	0.493
社会的比較志向のなさ	0.101	0.044	0.083	0.538	0.308
因子付与	6.214	4.122	2.438	1.604	14.378
累積寄与率	24.856	41.342	51.094	57.511	

第1因子：自己実現と成長

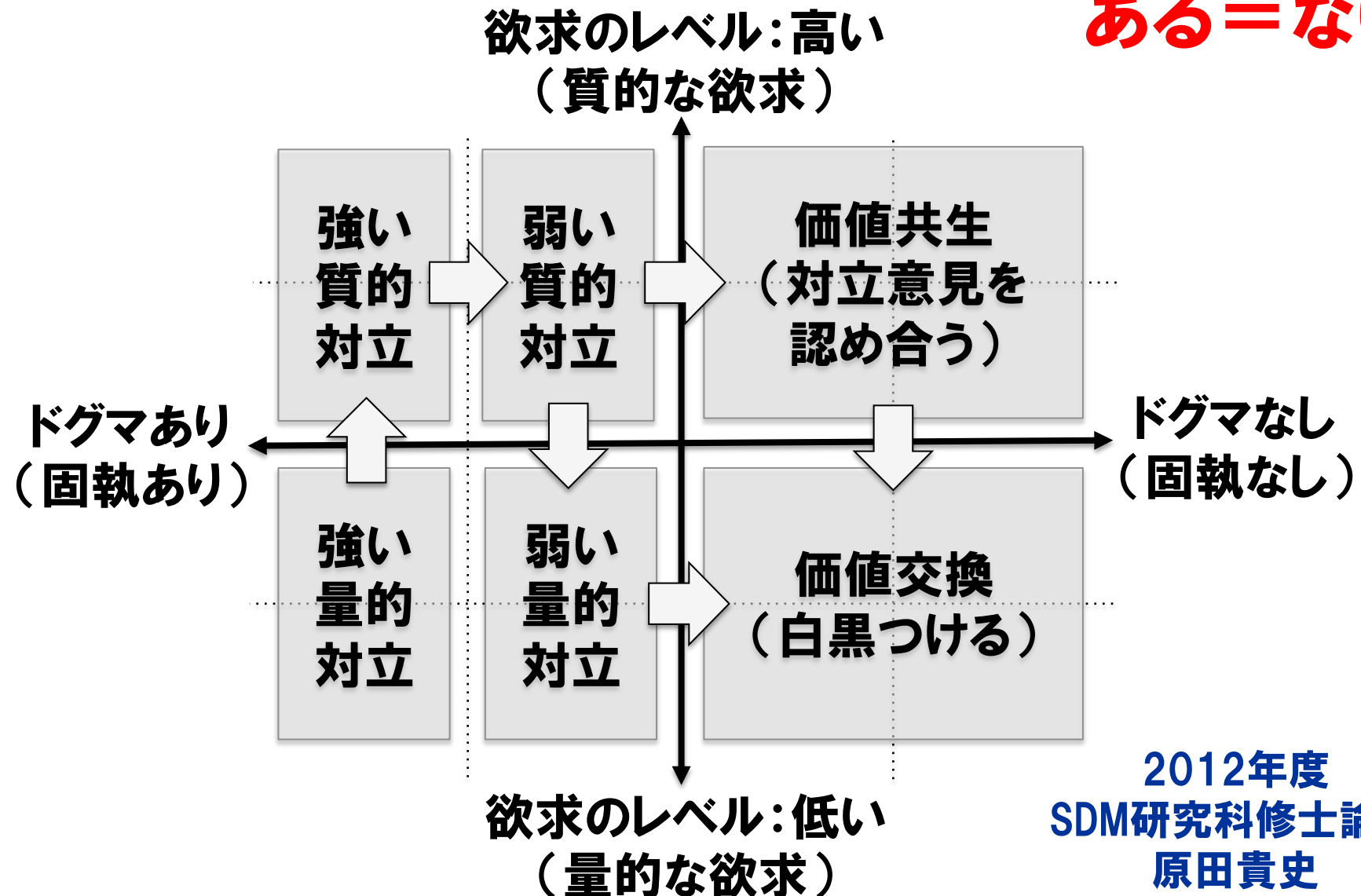
第2因子：つながりと感謝

第3因子：楽観性とポジティブ
志向

第4因子：独立とマイペース

システムズアプローチに基づく 紛争解決フレームワーク

世界平和の
フレームワークは
ある＝ない



時代潮流のパラダイムシフト

これまで

- 「分ける」「分かる」
＝二項対立型世界観
- 進歩史観
- 役割分担主義
- 要素還元主義
- 地位財の追及
(金＋モノ)
- 失敗と成功

これから

- 論理超越的世界観
- 循環型世界観
- 非地位財の追及
(幸福)
 - 自己実現と成長
 - つながりと感謝
 - 楽観性とポジティブ志向
 - 独立とマイペース
- 絶対無からの楽観

絶対無からの楽観へ



Thank you.